

# 第18回 妊娠と 地域女性のくすりの

## 悩みの支援と情報提供ができるかかりつけ薬剤師になる!!

### 保険薬局薬剤師向け研修会(妊娠と薬の分野に関心のある医療者対象)

出産年齢の高齢化を含めた社会環境の変化に伴い、疾患を持つ女性の妊娠や妊娠・授乳中の薬剤使用に関する課題は複雑化しています。それらの課題解決に向けた取り組みとして、2005年に厚生労働省事業として発足した「妊娠と薬情報センター」は、全国47都道府県の拠点病院と協力しながら20000件を超える相談症例に対応するとともに、相談実績に基づいた様々な研究成果をあげています。

2018年から保険薬局薬剤師(かかりつけ薬剤師)を対象とした研修会を定期開催し、ご参加いただいた多くの先生方が、地域の妊婦・授乳婦および妊娠を考える女性の薬剤使用に関する相談対応に活躍しています。今後さらに、当該分野の確かな情報発信を強化していくためには、より広い領域の医療者のご協力が必要になります。研修会を通して、適切な情報提供を行うための基盤作りをしていただくとともに、悩みをかかえる女性と地域の拠点病院の相談窓口との橋渡しをお願いしたいと考えています。

先生方の日々の診療に役立つ、当該分野の基本を学べる講義と模擬演習を交えた充実したプログラムを準備しておりますので、是非ご参加ください。

2025年  
**6月15日(日)**  
9:30~15:30

北海道医療大学  
札幌サテライトキャンパス 講義室A・B  
(札幌市中央区北4条西5丁目 アスティ45 12F)

**定員：保険薬局薬剤師 60名**

病院薬剤師、他職種(看護師・助産師・医師)  
の方もご参加いただけます

#### プロローグ

#### 9:30~10:00 妊娠と薬情報センターと薬剤師の協働

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 肥沼 幸

#### 10:00~10:30 妊娠と薬の分野で必要な産婦人科の基礎知識

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 藤岡 泉

#### 10:30~11:00 妊娠中の薬に関する考え方とカウンセリング方法

◎講師 国立成育医療研究センター 薬剤部 三浦寄子

～休憩10分～

#### 妊娠と薬情報センター に関わる知識研修

#### 11:10~11:40 授乳中の薬に関する考え方とカウンセリング方法

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 肥沼 幸

#### 11:40~12:40 妊娠と薬情報センターでの相談業務の実際

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 藤岡 泉、他拠点病院スタッフ

～昼食休憩～

#### 妊娠と薬情報センターの 紹介・関わり:技能研修

#### 13:30~15:20 妊娠・授乳相談への基本対応に関する模擬演習

(症例提示・発表・解説 妊娠相談1例、授乳相談2例)

◎講師 北海道大学病院薬剤部 西村あや子

#### エピローグトーク

15:20~15:30 【まとめ】アンケート記入と質疑応答

〈参加費〉4,000円・学生無料

●すべての時間に参加された方には修了書が発行されます

【申込フォーム】  
(申込期限:6月8日)

<https://forms.gle/PLd3GDrDTnw4DQ58A>



#### ●薬剤師研修単位を希望の方

- ・本研修会では日本薬剤師研修センター、北海道医療大学認定薬剤師研修制度のどちらかの単位を取得可能です(それぞれ3単位・申請中)。
- ・単位取得には事前登録が必要です。
- ・日本薬剤師研修センターはPECSです。北海道医療大学認定薬剤師研修制度はPLESOです。取得したい単位のシステムに登録してください。

〈当日は下記を必ずご持参ください。〉

- ・ご本人確認ができるもの(写真付き身分証明書)
- ・PECSより出力したQRコード(入場時および退場時にQRコードを2回読み取ることで単位が付与されます)

# 第19回 妊娠と 地域女性のくすりの



## 悩みの支援と情報提供ができるかかりつけ薬剤師になる!!

### 保険薬局薬剤師向け研修会(妊娠と薬の分野に関心のある医療者対象)

出産年齢の高齢化を含めた社会環境の変化に伴い、疾患を持つ女性の妊娠や妊娠・授乳中の薬剤使用に関する課題は複雑化しています。それらの課題解決に向けた取り組みとして、2005年に厚生労働省事業として発足した「妊娠と薬情報センター」は、全国47都道府県の拠点病院と協力しながら20000件を超える相談症例に対応するとともに、相談実績に基づいた様々な研究成果をあげています。

2018年から保険薬局薬剤師(かかりつけ薬剤師)を対象とした研修会を定期開催し、ご参加いただいた多くの先生方が、地域の妊婦・授乳婦および妊娠を考える女性の薬剤使用に関する相談対応に活躍しています。今後さらに、当該分野の確かな情報発信を強化するためには、より広い領域の医療者のご協力が必要になります。研修会を通して、適切な情報提供を行うための基盤作りをしていただくとともに、悩みをかかえる女性と地域の拠点病院の相談窓口との橋渡しをお願いしたいと考えています。

先生方の日々の診療に役立つ、当該分野の基本を学べる講義と模擬演習を交えた充実したプログラムを準備しておりますので、是非ご参加ください。

2025年  
**12月7日**  
10:00~16:00  
WEB開催

定員：保険薬局薬剤師 300名  
病院薬剤師、他職種(看護師・助産師・医師)  
の方もご参加いただけます

#### 研修内容

##### プロローグ

10:00~10:30 **妊娠と薬情報センターと薬剤師の協働**

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 肥沼 幸

##### 妊娠と薬情報センター に関わる知識研修

10:30~11:00 **妊娠と薬の分野で必要な産婦人科の基礎知識**

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 藤岡 泉

11:00~11:30 **妊娠中の薬に関する考え方とカウンセリング方法**

◎講師 国立成育医療研究センター 薬剤部 三浦 寄子

11:30~12:20 **授乳中の薬に関する考え方とカウンセリング方法**

◎講師 国立成育医療研究センター 妊娠と薬情報センター(医師) 肥沼 幸

～昼食休憩～

##### 妊娠と薬情報センターの 紹介・関わり・技能研修

13:00~14:00 **妊娠と薬情報センターでの相談業務の実際**

～休憩10分～

14:10~15:50 **妊娠・授乳相談への基本対応に関する模擬演習**

(症例提示・発表・解説 妊娠相談1例、授乳相談2例)

##### エピローグトーク

15:50~16:00 **【まとめ】アンケート記入と質疑応答**

〈参加費〉3,000円(年間パスポート利用不可)

- 日本薬剤師研修センター研修受講単位 3単位(申請予定)
- 配布資料はメールにて送信いたします(郵送はありません)
- 修了証等の発行はございません

〈申込方法〉HAP研修申込管理システムより(NPO法人HAPのHPに掲載)  
(申込期限:開催24時間前)

下記をご希望の方は、参加お申込みとは別に、申込フォームより11月30日までに  
ご依頼ください。有料にて対応させていただきます。

- 郵送による配布資料の提供: 500円
- 参加証明書: 1,000円(すべての時間に参加された方のみ)

〈申込フォーム〉<https://forms.gle/cqbNZoPE4BT6zGNv5>



申し込みはこちら



申し込みはこちら

※日本薬剤師研修センターの研修受講単位は「薬剤師研修・認定電子システム(PECS)」にて交付されます。PECS登録をしなければ研修受講単位が取得できませんので、各自PECSへのご登録をお願いします。

※研修受講単位は次の条件を満たした場合に取得できるものとします:①HAPシステム登録のメールアドレスにて参加すること、②研修参加時は登録した名前(フルネーム)を表示すること、③研修会への入室時刻・退出時刻のログ記録で参加確認を行うため、参加時間が規定に満たない場合や途中退出の場合は単位交付不可となること、④そのほか単位取得の必要事項を満たすこと。